



# しいば 議会だより

第95号

令和元年8月

発行  
編集

宮崎県椎葉村議会  
議会だより編集委員会  
〒883-1601  
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字  
下福良11762番地1  
TEL (0982)67-3209  
村内無料電話7-67-0091



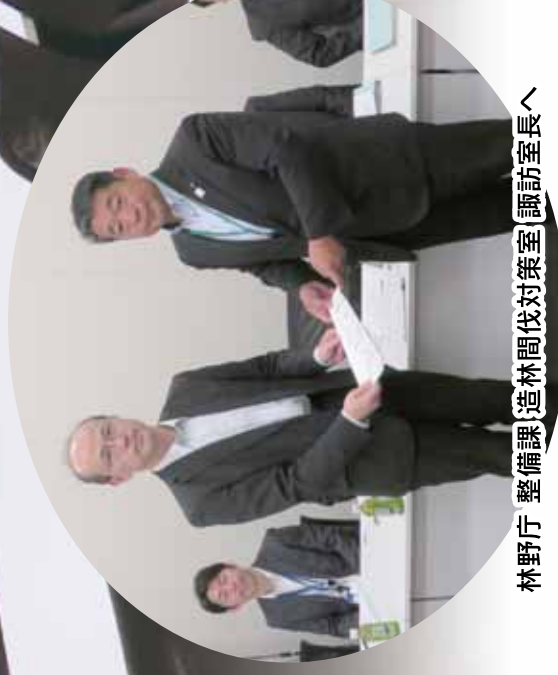
林野庁への要望活動の様子



国土交通省 国道・技術課 東川課長へ



農林水産省 鳥獣対策・農村環境課 仙波室長へ



林野庁 整備課 造林間伐対策室 諏訪室長へ

議会構成 ……………(2)

議員活動報告 ……………(3)

第2回臨時会・6月定例会(4~5)

一般質問 ……………(6~7)

議会の動き ……………(8)

# 議 会 構 成

## 議長就任あいさつ

### 岡村 正司(57才・3期)

この度の議会構成におきまして、議長の要職に就任することになりました。光栄に存じると共に責務の重さを一層痛感しているところであります。これから村政の発展と村民福祉の向上、住みやすい村づくりのために誠心誠意努力しまして村民の皆さまから一層信頼される議会になるために、各議員の皆さまと共に議会の活性化に努め前に進めてまいりたいと思います。

また、議会改革の一環として各種団体との意見交換などを行い、議会の活動に関する情報を積極的に公表し、情報を分かりやすくお伝えするとともに、議会を身近に感じていただけるよう工夫しながら、村民の目線を大切にしたい議会運営を心掛けていきたいと思ひます。

村民の皆様方の一層のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



## 副議長就任あいさつ

### 那須 重美(59才・2期)

この度の議会構成において、副議長の要職を拝命いたしました。重責を感じるとともに議会の果たす役割を全うしなければ・・・と感じる次第です。

村民の皆様方からの信頼、期待されるよう議会の活性化を図り、行政と一体となって椎葉村の発展のために取り組んで参る所存です。村民の皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



## 総務文教常任委員会



委員長  
河口 吉弘  
(71才・4期)



副委員長  
尾前 秀久  
(63才・1期)



委員  
甲斐 美義  
(79才・9期)



委員  
椎葉 大和  
(70才・5期)

## 産業福祉常任委員会



委員長  
椎葉 芳一  
(70才・5期)



副委員長  
椎葉 一  
(61才・1期)



委員  
椎葉 邦博  
(69才・5期)



委員  
椎葉 文典  
(66才・1期)

# 議員活動報告

## 国への要望活動及び政務調査 6月11～13日

### I. 国土交通省(国道の整備促進に関する要望)

- ・道路整備に必要な予算を確保するとともに、道路整備が遅れている地方に重点配分すること。
- ・国道265号線 十根川～仲塔区間の早期完成と椎葉～西米良間の改良促進
- ・国道327号線 佐土の谷工区、尾平工区の早期完成
- ・国道388号線 椎葉～美郷間の改良促進

#### (回答)

- ・国道3路線については、宮崎県及び皆様方の話を聞きながら、国土交通省としてできる限りの支援に努める。国道327号については、松尾地区の用地買収を進め3号橋、4号橋の橋梁工事を進める。

### II. 農林水産省・林野庁(獣害対策、森林・林業・林材産業振興、乾しいたけ産業振興及び森林環境譲与税の使途に関する要望)

- ・有害鳥獣被害対策のための狩猟者、捕獲従事者の育成支援、被害防止対策事業に対する財政支援、被害防止対策技術や専門家の育成の支援を図ること。
- ・木材価格安定対策や森林整備事業への財政支援、国産材需要拡大策の推進、林業担い手・後継者の育成、作業道災害復旧事業に対する財政措置を行うこと。
- ・国産椎茸の安全性についての広報活動や消費拡大策の推進、国産原木椎茸の学校給食使用や輸入菌床椎茸の純国産品との差別化を図ること。
- ・森林環境譲与税の使途については、単独事業の振り替えや国等の制度事業への上乗せなど、税の使途に見合うものであれば自治体の裁量にゆだねることや、村営林の整備や村有林化(取得等)にも充てられるようにすること。

#### (回答)

- ・102億円の鳥獣被害防止総合対策交付金を予算化、柔軟な取り組みができる。被害防止策に対する財政支援については、交付金予算の確保を図っていく。人材育成や支援の仕方については、農林水産省版の地域おこし協力隊などのアイデアも仕組みのひとつ。
- ・木材価格安定対策の重要性は十分に認識している。木材の安定供給と需要拡大を同時に進め、価格対策を推進している。造林、下刈り、徐間伐等の予算措置は前年と比較して大幅増となっている。林業担い手対策として46億円の緑の雇用事業を予算化している。
- ・平成30年度補正予算で香港、台湾をターゲットにした乾しいたけ椎茸の輸出による需要拡大対策を講じている。中国産輸入菌床により発生した椎茸は国内産となる表示を扱う消費者庁と連携し対策を検討したい。
- ・これまで一般財源で実施してきた事業に対する譲与税による付け替えや置き換えは基本的にはダメ。目的税のため森林整備促進に関する費用に充てるべき。付け替えとか置き換えには極力使わないことが望ましい。公有林整備とか公有林化については制限しない。

東京奥多摩湖小河内ダムを見学し、東京都全体の飲料水を全てまかなうダムということで大規模な貯水量を持つ水質のきれいなダム湖であった。その上流にある「留浦(とづら)の浮橋」見学をしたが、ダムにマッチし水位の上下に適應するように考えられた浮橋であった。椎葉ダム湖でも設置可能な場所や規模の大きさ等協議したが、課題としては、架設予算をどう見つけるのかとの意見が出され、今後行政や議会等でも審議される案件なのかと思う。もし架設設置ができれば、ダム観光産業がさらに発展すると思う。



奥多摩湖



留浦の浮橋

## 県乾しいたけ生産者大会 5月31日

シーガイアにおいて第64回宮崎県乾しいたけ品評会及び第10回宮崎県乾しいたけ生産者大会が開催された。品評会においては、13地区から出品があり、見事団体優勝という輝かしい成績であった。

また、個人賞で20名の優等・入賞、特別賞で4名の方が受賞した。本村の基幹産業でもあるので、このような結果を基に流通にも反映されるよう取り組む必要があると実感した。



## 県道上椎葉・湯前線整備促進協議会定期総会 5月14日

本総会が、日向土木事務所長をはじめ土木事務所関係者、沿線の公民館役員その他多くの関係者の出席のもと、開発センターで開催された。

本年度も引き続き県土整備部や県議会等に要望活動を行っていくことで決した。



# 令和元年 第2回臨時会

4月21日執行の村議会議員選挙後初の臨時会が5月8日に開催され、議長、副議長、常任委員会委員、議会選出監査委員等の選任が行われた。あわせて、平成30年度一般会計、特別会計補正予算が上程され、審議の結果、提案どおり可決した。その結果と概要は次のとおり。

- 議会選出監査委員 椎葉文典
- 議会運営委員会 (委員長)河口吉弘・(副委員長)尾前秀久・(委員)椎葉芳一・椎葉一・岡村正司・那須重美
- 宮崎県北部行政組合議会議員 河口吉弘・椎葉芳一
- 日向東臼杵広域連合議会議員 岡村正司・椎葉芳一
- 入郷地区衛生組合議会議員 河口吉弘

## 平成30年度補正予算

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一般会計	6,646,567	△ 55,720	6,390,847
国民健康保険特別会計	387,758	△ 4,599	383,159
簡易水道事業特別会計	285,776	△ 905	284,871
国民健康保険病院事業特別会計	492,788	△ 7,070	485,718
電気事業特別会計	138,848	2,331	141,179
介護保険特別会計	408,524	△ 3,213	405,311
後期高齢者医療特別会計	87,478	△ 164	87,314
ケーブルネットワーク事業特別会計	70,237	△ 800	69,437

## 令和元年度補正予算

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一般会計	5,623,000	12,740	5,635,740

# 令和元年 6月定例会

村議会6月定例会が6日(木)に開催され、村長から報告事項3件、人事等の同意案件4件、補正予算、条例制定及び条例一部改正、工事請負契約締結などの議案14件が提案され、提案どおり議決し閉会した。その概要は下記のとおり。

### I. 報告事項

平成30年度椎葉村一般会計繰越明許費計算書の報告など2件。繰越明許費については、平成30年度から翌年度に繰り越す事業費等の予算、11億3277万3千円の報告。

### II. 同意案件

○椎葉村副村長が任期満了を迎えることから、提案どおり全員一致で選任に同意した。

氏名	住所	任期
黒木 保隆	椎葉村大字下福良 1767番地1	自 令和元年7月1日 至 令和5年6月30日

○椎葉村固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案どおり全員一致で選任に同意した。

氏名	住所	任期
那須 清重	椎葉村大字下福良2051番地イ号	自 令和元年6月17日 至 令和4年6月16日
椎葉 輝基	椎葉村大字下福良1739番地17	

○椎葉村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて、提案どおり全員一致で同意した。

氏名	住所	任期
高松 今朝光	椎葉村大字大河内 708番地93	自 令和元年6月20日 至 令和2年7月19日

### Ⅲ. 令和元年度補正予算

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一 般 会 計	5,635,740	△ 420,715	5,215,025
国民健康保険特別会計	363,933	1,721	365,654
簡易水道事業特別会計	58,832	2,084	60,916
国民健康保険病院事業特別会計	560,627	△ 982	559,645
電気事業特別会計	135,005	572	135,577
介護保険特別会計	400,097	11,048	411,145
後期高齢者医療特別会計	88,107	58	88,165
ケーブルネットワーク事業特別会計	69,666	7,315	76,981

#### (一般会計補正額の概要)

- 平寿園跡地拠点施設整備関係予算 7億2220万3千円を減額。国の平成30年度地方創生拠点整備交付金事業 3億5741万9千円が採択されたため平成30年度予算に計上(繰越)、そのため当初予算から減額するもの。
- 移住定住支援事業補助金として100万円追加。
- 子供の保育を村外の保育所に委託する委託料として254万4千円を追加。
- 上松尾村行分収林地を水源地保全等の目的で土地、山林を村有林化するための購入費567万9千円、森林環境譲与税基金積立金4000万円、森林・林業・木材産業成長産業化対策交付金事業826万円の追加。
- 10月からの消費税率引き上げに伴う低所得高齢者(住民税非課税世帯)及び3歳児未満の子育て世帯に対するプレミアム商品券を発行する予算として2402万8千円を追加。
- 大河内小学校体育館改修工事費3610万円追加。
- 道路維持費のための工事請負費7000万円追加。

#### Ⅳ. 条例の制定及び条例の一部改正について

国における森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の制定に伴い、森林の整備とその促進に関する施策の財源に充てるため、譲与税(令和元年度は4000万円)を基金として積み立てるための基金設置条例の制定です。

また、低所得者に対する介護保険料を軽減(対象者は第1段階～第3段階に属する被保険者)する介護保険条例の一部改正。

#### Ⅴ. 工事請負契約の締結について

工事請負契約金額が5000万円を超える契約等については、地方自治法及び条例の規定により議会の議決を要します。6月定例会において議会の議決を要する4件の案件について提案どおり全員一致で議決した。

##### 1. 平成元年度地すべり災害 林道高塚山1号線林道施設災害復旧工事

- ① 1工区 契約 金額 171,578,000円  
工 期 令和元年6月7日～令和3年3月25日  
契約の相手方 株式会社 川上建設
- ② 2工区 契約 金額 58,080,000円  
工 期 令和元年6月7日～令和3年3月25日  
契約の相手方 株式会社 相生組
- ③ 3工区 契約 金額 68,200,000円  
工 期 令和元年6月7日～令和3年3月25日  
契約の相手方 株式会社 甲斐建設

##### 2. 令和元年度(平成30年度繰越)平寿園跡地拠点施設整備工事

- 契約 金額 583,000,000円  
工 期 令和元年6月7日～令和2年2月14日  
契約の相手方 杉本建設株式会社

#### Ⅵ. 特別委員会を設置

6月定例会において、村が抱える課題解決のための調査研究や施策提案、議会活性化のための議員のスキルアップと意識向上を図るための議論を深めるなど、三つの特別委員会の設置をした。村民の皆様方のご意見を聞く機会を設けます。積極的なご意見とご協力をお願いします。

委員会名称	委員長	副委員長	委 員
議会改革特別委員会	那須 重美	河口 吉弘	椎葉芳一・椎葉一・甲斐美義・椎葉邦博・椎葉大和・椎葉文典・尾前秀久
地域医療を守る調査検討特別委員会	椎葉 芳一	椎葉 一	甲斐美義・椎葉邦博・椎葉大和・椎葉文典・尾前秀久・河口吉弘・那須重美
人口減少対策特別委員会	河口 吉弘	尾前 秀久	椎葉芳一・椎葉一・甲斐美義・椎葉邦博・椎葉大和・椎葉文典・那須重美

# 村長に聞く! ~ 一般質問 ~



椎葉一 議員

## 質問 椎葉ダム湖活用における観光事業について

**問1** 上椎葉ダムが昭和30年に完成以来、約64年が経過し、道路沿線も木々が生い茂り、ダム湖の景観も見えにくい状況である。ダム観光事業として、椎葉ダム湖での遊覧船を就航させ、四季を通して運行できれば、観光スポットの一つ

になるのではないかと考える。ダム観光事業については、九州電力の事業に対する理解と協力がなければできないものだと考える。最初にダム湖に浮棧橋を作り手摺り付きの階段等を作成して船着き場とし、付近にフットパス散策コース等できればと思う。大小の不法投棄も見られ、伐採を施行し、景観をよくすれば沿線環境も整うので、可能な事業と考え村長の答弁を求める。

**答** 本村の観光については、「第4次椎葉村観光振興計画」に基づき、観光客の受け入れ環境づくり、旅行商品の企画販売などに取り組んでいる。

ダム湖を利用した観光事業は、平成27年度から、九州電力の協力により「ダム湖の周遊体験モニターツアー」を実施した。上椎葉ダムは認知度が高く、観光事業を進める上で非常に有効な地域資源の一つであると認識しているため、九州電力と協議を進めながら、上椎葉ダムを活用した観光事業を積極的に取り組む。

**問2** 椎葉ダムには、完成当時小崎と尾八重に大八丸と鶴富丸という定期船が1日3回、住民の足として就航していた実績がある。椎葉ダム湖に浮棧橋等が設置できれば、手漕ぎボートの乗り入れが早めに来るのではないかと考える。沿線の伐採も地域が協力できるよう考えている。森林環境譲与税も利用可能なのか求める。

**答** ダム湖での船舶運航は、水位の変動が激しいため、安全面を考えると通年運行は難しい。浮棧橋やコンクリート階段構造物の設置も事故発生の可能性も含め安全確保が優先されるので、九州電力と協議を行いながら進めていく。

また、森林環境譲与税の活用については、国、県の達し部分もあるので使えない。今後、九州電力と観光協会とも協議しながら事業を進める。



尾前秀久 議員

## 質問 林業経営の安定に向けた補助制度の充実について

人口減少問題は我が村の必須の課題であろうと思います。労力を軽減し収穫を増やし安定した経営に結び付けていく、担い手、後継者を育成していく上で最も重要なことであると考えます。

以下3点について村長の答弁を求める。

## 質問 有害鳥獣による吸血ヒル等の拡散について

**問1** 椎葉村は、多くの山林で占められているが、その中で野生獣による被害は深刻な問題である。数年前から、吸血ヒルなるものが有害鳥獣や他の方法によって拡散されつつあり、村内でも西米良村から大河内、桐尾、上椎葉、鹿野遊、仲塔に拡散を見せている。村民にとって吸血ヒル等の生態系状況がわからない状態であり、ウイルス感染等病気になるものなのにか心配である。今後どうなっていくのか椎葉村の広大な面積の中でどう対応や検討をしていくのか見解を求める。

**答** ヤマビルによる吸血の被害については、数年前から大河内地区を中心に被害報告があり、桐尾、仲塔、鹿野遊、上椎葉の一部で被害が発生している。環境文化創造研究所では、ヤマビルの未消化血液のDNA解析をしたところ、鹿やイノシシが主たる吸血源であることが判明している。日当たりを良くすることで地面を乾燥させ、生育しにくい環境を作りつつ、除草バーナーによりヤマビルや卵のうを焼却したり、殺ヒル剤等散布を行っている地域もある。吸血されないための予防方法として、市販の忌避剤を靴や衣服に振りかけるほか、食塩水、木酢液でも効果が実証されている。

また、仮に吸血されたとしても、血液媒介性や土壌媒介性の疾患に感染した事例はないと伺っている。各集落毎に「いつ」、「どこで」、「どのように」被害があったのか等調査を実施し被害状況の把握に努めたい。平行して、専門家の意見を聞き、必要な被害対策を講じていく。

**問2** 椎葉村で毎年イノシシが約800頭、鹿が約2400頭駆除されているのに減少傾向になっていないように考えるので、生息個体数の調査が必要だと思う。生まれる頭数より駆除数を増やせばヤマビルの広がりも抑えられると思っている。写真や注意書きのパフレット等配付できないものか伺う。

**答** 吸血ヒルの問題については、有害獣の駆除が非常に大切である。これからも猟友会の協力のもとで駆除を進めて吸血ヒルの拡散を防止できるように取り組んでいく。



**問1** 労力の軽減、安定した収穫に向けた高性能林業機械の導入について、現在の導入要件では個人、家族労力にとってその要件を満たすことが出来ない。制度の見直しをして頂きたい。

**答** 林業者が高額な機械を所有維持することは負担が大きいことから、より利用し易くかつ補助の効果が得られるよう検討を進めていく。

**問2** 育林の部分は機械化できず人の力に頼らざるを得ない。この作業はかなりの重労働であり担い手、後継者が育たない現状が確実に見えてきている。大幅な補助金の

見直しをして頂きたい。

**答** 育林については過酷な重労働であり、一方では公益的機能の維持雇用の場の確保のために様々な施策が必要である。国、県においても補助金の増額が見込まれている、本村も制度を維持し引き続き支援していきたい。

**問3** 作業道は山にとつての生命線である、補修、災害、急勾配地のコンクリート舗装など大幅な制度の見直しをして頂きたい。

**答** 綿密に調査検討を行い林政審議会を中心に検討しながら山を活かす為の施策を展開していく。

**問4** 椎葉村が策定している長期総合計画の中で、担い手、後継者育成を課題としてあげている、その解決の為に労力の軽減、安定した経営、ゆとりある生活に向けてその課題に大胆かつ、思い切った施策を強く推し進めてもらいたい。

**答** 高性能林業機械については今後5年間継続事業とし、要件の定義、リースの条件の再検討を協議している。一番きつい下刈り作業については村行政はもとより、国県一体となって努力していく。



椎葉文典 議員

**質問** 椎葉小学校下から下福良への橋の整備について

**問1** 以前は当たり前のように地域の住民が利用していた橋が台風で倒壊してしまい、数年に至っても今なお橋がないままで非常に困っている。過去に行政へ建設をお願いしたと聞いているが、上椎葉の中心地に行くたびに桑の木原方面、夜狩

内方面を利用する方々の車両燃料代は大変な出費だと言う。椎葉小学校対岸を駐車場として整備して頂ければ、そこに車を置いて要件が済ませられるとのことであるので、橋の整備が可能なのか地域住民の方へ、行政としてどのような考え方をしているのか答弁を求める。

**答** 橋の建設は可能だと思うが橋長が長いことや、河川の使用許可を得るための要件を満たす事が必要であるとともに建設方法の制約も予想される。引き続き、協議を重ね有効な事業等を模索する。重要な整備案件の一つであると思っている。

**問2** 地域の方々が安全社会を築くためには自助も大切だが、共助や公助も大切だと考える。これからでも遅くないので、地域の方々と十分に相談していただきたい。

**答** 橋の建設については重要な課題であるから、今後も国県と協議をしながら有利な補助事業があれば利用していきたい。



河口吉弘 議員

**質問** 脳ドック検査の受検奨励と検査料の助成について

**問1** 健康管理には十分注意していた友人が突然脳梗塞を発症、現在リハビリに取り組んでいる。脳血管疾患の予防は、生活習慣の改善による発症予防や各種検診の受診は不可欠。脳卒中(くも膜下出血、脳梗塞、脳出血)は死に至る場合

が多いばかりか、身体に麻痺などの重度障害を残し、過酷な介護による身体的、経済的負担を強いる。脳血管疾患要因の早期発見、早期治療のために、各種検診結果や脳血管疾患が顕著に現れてくる40歳以上の脳ドック検診の希望者に対し、検診料の一部を助成するなど、脳血管疾患要因の早期発見、早期治療に取り組む必要があると考えるが村長の答弁を。

**答** 脳ドックは国保保健事業として総合健診にオプションとして含み、費用の一部を助成してきた。平成29年に委託医療機関が移転新築したとき、頭部MRI機械が導入されず現在は含まれていない。新たな医療機関を探すことは困難であり、健診のオプションとして実施することは難しい。

特定健診を受診し、生活習慣の改善に取り組み、異常があれば病院を受診し、治療につなげていくことが1次予防に取り組む村の保健事業と考えている。

**問2** 日本人の死因の1位は悪性新生物(がん)、脳血管疾患は4位だが、介護が必要となった原因の第1位は

脳血管疾患、また、寝たきり原因の第1位も脳血管疾患。

生活習慣の改善による生活習慣病の要因を除くことは村民一人ひとりが続けていかなければならないことだが、脳卒中のリスク、要因を早期に発見し、早期に治療することも大事。頭部CTやMRIによる脳ドック検査ができる病院は県内にもある。検診料の一部助成を行い、脳ドック健診をうながすことは大事なことでないか。

**答** 日本脳ドック学会は、脳ドックにより発見される異常所見の大多数は致命的性質のものではない、医療効果についても公費を用いて実施すべきか判断できていない。1次予防に取り組み、脳卒中の早期発見、早期治療が必要と医師が判断した場合、脳の検査を受けることが適当と学会は公表している。

病院から脳ドックが必要と判断された場合に検討し、補助するかしないか判断したい。

**問3** 脳ドックの費用は3万円から5万円、早期発見、早期治療による健康寿命の延伸につながる施策は必要であり、村民の健康を守るため専門的に検討をお願いする。

**答** 生活習慣病をきちんと治療し、医師が脳ドックが必要と判断した場合、補助を出していくのはやぶさかではない。脳ドック学会のことは詳しくないが、専門的な先生の話しを聞き、行政として村民の健康維持に全精力をつぎ込まなければならない。



# 議会の動き

4月	16日	村議会議員選挙告示	選挙管理委員会
	21日	村議会議員選挙投・開票日	選挙管理委員会
	23日	村議会議員当選証書付与式	役場3階会議室
5月	8日	村議会第2回臨時会	議場
	10日	入郷地域開発期成同盟会議長・局長会	日向市
		東白杵郡議長会定期総会	日向市
	13日	交通安全街頭キャンペーン	平家本陣
		椎葉村林政審議会	役場3階会議室
	14日	区長・区長代理、組合長研修会	開発センター
		県道上椎葉・湯前線整備促進協議会定期総会	開発センター
	17日	東白杵郡監査委員協議会定期総会	日向市
	18~19日	第3回近畿しいば応援団	大阪市
	20日	村観光協会理事会	役場3階会議室
		九州中央同建設促進沿線議会協議会理事会	延岡市
	21日	九州中央自動車道建設促進期成会総会	延岡市
		村国保病院運営協議会	保健センター
	24日	日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会総会	日向市
	27~28日	入郷地域開発期成同盟役員会	美郷町役場
例月出納検査		監査室	
29日	新議員研修会	委員会室	
	第4回全員協議会	委員会室	
	総務文教・産業福祉常任委員会	委員会室	
31日	県乾しいたけ生産者大会	宮崎市	

6月	1日	県民総合スポーツ祭開会式	宮崎市
	5日	議会運営委員会	委員会室
	6日	6月村議会定例会	議場
		第5回全員協議会	委員会室
	11~13日	国土交通省・農林水産省・林野庁要望活動及び政務調査	東京都・山梨県
	17~19日	地域づくり懇談会(松尾・上椎葉・尾向・不土野・尾前・小崎)	各集会センター他
7月	22日	村夏季消防操法大会	椎葉小グラウンド
	25~26日	地域づくり懇談会(鹿野遊・仲塔・桐尾・大河内)	各集会センター他
	30日	女性スポーツ祭	村民体育館
	1日	新議員研修会	宮崎市
2日	椎葉矢部砥用線整備促進期成同盟会理事会・総会	熊本県美里町	
8日	入郷地域開発期成同盟会県出先機関要望活動	延岡市・日向市	
10日	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会熊本・宮崎合同幹事会・理事会	高千穂町	
16日	日向東白杵広域連合7月議会	日向市	
18日	全国森林環境税創設促進議員連盟役員会及び第26回定期総会	和歌山県田辺市	

## 編集後記

4月21日の村議会議員選挙後、5月8日に開催された臨時会において「議会だより」の編集、発行を担当する「議会広報広聴特別委員会」委員を次のとおり選任いたしました。

(委員長) 河口吉弘 (副委員長) 尾前秀久  
(委員) 椎葉芳一・椎葉 一・岡村正司・那須重美

議会と村民をつなぐ大切な広報紙「議会だより」。発行に当たっては、わかりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めます。そして村民と共に歩む議会の実現のためには、議会の活性化は不可欠です。村民の皆様方のご意見、ご批判をお待ちしております。

「議会だより」編集委員一同



## 椎葉村議会 テレビ生中継

9月定例会は9月6日開会予定となっております。

お問い合わせは議会事務局まで  
(TEL 0982-67-3209)

是非傍聴にお越しく下さい。

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。